

ツェムリンスキー作曲 歌劇「フィレンツェの悲劇」

190403

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物			見どころ・聴きどころ
第1場 20分		序曲	フィレンツェの裕福な商人の部屋。シモーネの妻ビアンカは、ガイド・バルディと互いに手を握り合っているが、気配を察知したビアンカは、突然、ガイドから離れる。 その瞬間、シモーネが中央の扉から入ってきたので、現場を見られる。	5				
	1	見返りに買わせようとする	シモーネは、フィレンツェ大公の子息ガイドを紹介される。奥方はとても優しく迎えてくれましたよ、あなたがよろしければ、また訪れたいくらい。 「あなたが商売で外国に出掛けるなら、僕が傍に居て、一人ぼっちの奥方を慰めてあげよう、あなたのことを余りに心配しないでいられるように。」というので「友人として来てくれ。」と言り返す。	20	10	シモーネ ビアンカ ガイド	ビアンカ	
	2		今回の出張で何も売れなかったシモーネは、いきなりそこに付け込み、それより高級織物の良さを説明しながら買うように言い、ガウンも買うように言う。シモーネは、「ガイドが望むものは拒まない。」と言うので、調子に乗ったガイドは、「この汚れなきビアンカを望んで良いですか？」と言う。	5	シモーネ ビアンカ ガイド	無礼なガイド		
第2場 20分	1	ガイドの無神経な発言に殺意を抱く	ガイドが帰らないので、シモーネは、英国商人・教皇等の世間話をするが、しらけたので、シモーネが隣の部屋に荷物を移す。そのすきに、ビアンカはガイドに静かに苦々しく、「死神がシモーネがいるところへ迎えにすればいいのに！」と言う。戻ってきたシモーネは、その言葉を聞いてしまい、ビアンカを、たしなめる。	20	5	シモーネ ビアンカ ガイド	しらける世間話	
	2		ガイドがリュートをもってきていたことに気付いたシモーネは、以前聴いたことがあるといい、良かったので聴きたいと言う。 ガイドは、「すでにビアンカと合奏したので、十分だ。今夜は弾く気がしない、またの機会に。」と言う。	5	シモーネ ガイド	リュートの話		
	3		シモーネが、不安で重苦しい心を慰めたいので、三人でワインを飲もうと言い乾杯する。 ガイドが、「ビアンカの唇が、バラの花びらがグラスの上を漂うみたいさらに甘くしてほしい。」といい、ビアンカに飲ませる。シモーネも調子に乗りそれを受け取り飲む。それを見ていたシモーネは、怒って席を立つ。	5	シモーネ ビアンカ ガイド	殺意を抱く		
	4		ガイドとビアンカは、愛情に満ちた会話をして、長いキスをする。 抱擁が終わるとビアンカが「分かるでしょう。愛するときも死ぬときも、私はあなたのものよ。」 庭から戻ってきたシモーネは、二人を真顔で悲しげに見つめる。	5	ビアンカ ガイド	決心する		
第3場 15分	1	シモーネがガイドを殺す	ガイドが帰ると言うので、ビアンカに松明を持ってこさせるがその間、シモーネは、「どんな蔑みや恥辱、嘲笑や公然での侮辱は耐えられるが、たとえ私が飢えを満たすために使う粗末なお皿であったとしても、私のものを盗む人は自らを危険に晒し、死ぬのです！」と脅す。 シモーネは、ガイドの強靱な剣を見ながら、「あなたの剣と私の剣のどちらが強いかな勝負しよう。」と言い、ガイドは快諾する。ビアンカがガイドに小声で、「あいつを殺して！殺して！」と言う。 松明はつけたまま決闘が始まりシモーネが負傷するが、次は、ガイドが剣を取り上げられる。	15	5	シモーネ ビアンカ ガイド	剣の話	
	2		今度は短刀で戦うことになり、松明を消して、ビアンカはガイドに熱狂的に「殺して！殺して！」と言うが、シモーネはガイドを捕まえて、床に投げ飛ばす。 膝をガイドの胸に乗せ、両手で首を絞めあげ、ガイドを殺す。	5	シモーネ ビアンカ ガイド	ガイドの死亡		
	3		シモーネはビアンカを殺そうとするが、月明かりが照らされる。 ビアンカは、熱狂の中、心を込めて「なぜ言ってくれなかったの。あなたがこんなに強いということ。」と言う。 シモーネは、「なぜ言ってくれなかったんだ。これほど美しいということ。」と言い最後のキスをする。	5	シモーネ ビアンカ シモーネ	月明かりの中		

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。